

コミュニティ・スクールだより

1学期7月12日に第2回学校運営協議会が開催されました。川口市教育委員会の市川重彦氏による「講演会」と学校運営協議会委員による「熟議」が主な内容でした。

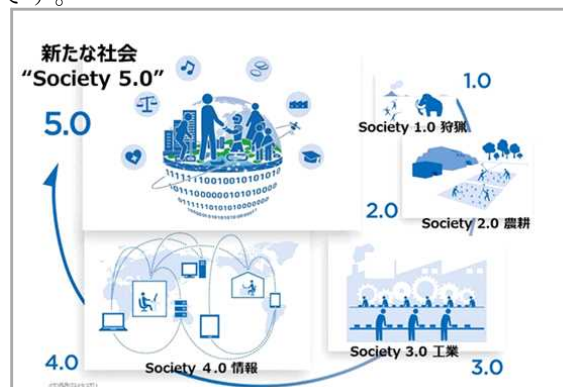
その概略について、紹介します。

I 講演会「学校運営協議会の役割」 以下その概略です。

1 すぐ近くの未来

新たな社会（Society5.0）とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）です。

狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されました。



○『子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就くだろう』

キャシー・デビッドソン（ニューヨーク市立大学院センター教授）

○『今後10～20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い』

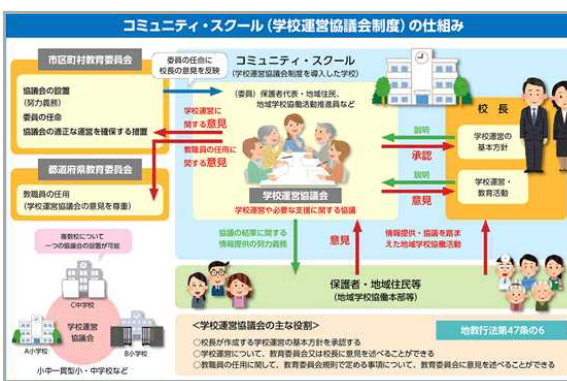
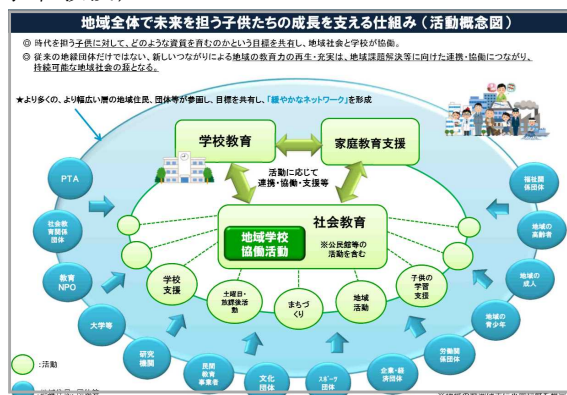
マイケル・A・オズボーン（オックスフォード大学准教授）

2 地域と学校の連携

従来の団体だけではなく、新しいつながりによる地域の教育力の再生・充実は、地域課題解決に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。今後の地域における学校との協働体制のあり方としては、「地域学校協働本部」を核とした地域と学校の連携・協働の形になります。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みです。コミュニティ・スクールは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

学校運営協議会の主な役割として、「校長が作成する学校運営の基本方針を承認する」「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる」「教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる」の三つがあります。



講演後、参加者に記入カードを3～4枚持ってもらい、熟議に入り、様々な意見が出ました。

以下、主な意見を紹介します。

【熟議1】 「将来的に、子どもたちには、こんな子どもになってほしい」（地域と学校が求める子どもの姿）をテーマにして、熟議に参加した12名の参加者に、イメージする子ども像を書いてもらいました。

(1) 児童個人に関わるもの

- 「自分の頭で考えることができる」「自分で考え、行動し、責任がとれる子」（6人）
- 「あきらめしないで、最後までやり遂げる子」（5人）
- 「創造力にある子」「新しいことにチャレンジできる子」（3人）
- 「本の好きな子」「生涯にわたって読書する子」（2人）
- 「失敗をおそれない子」（2人）



【グループ討議の様子】

(2) 集団や地域社会との関係に関するもの

- 「互いに助け合える子」「元気で仲良くできる子」（4人）
- 「人と関わり合える子」「対話（コミュニケーション）ができる子」（4人）
- 「思いやりのある子」「自分も相手も大事にできる子」（4人）
- 「郷土（校区や市）を愛せる子」「郷土を知る子」（4人）、などです。

【熟議2】 4人ずつの4グループになり、「ビジョンを実現するために、夏休みなども含め、学校・地域ができそうなこと」をテーマに、アイディアをカードに記入してもらいました。

- 「地域の歴史を話し合う会」（3人） ○「夏祭りを校庭で行う」（3人）
- 「学校での避難所体験」（2人） ○「運動会に地域と児童合同種目を入れる」（2人）
- 「人生の先輩ゲストティーチャー」（2人） ○「地域伝統行事の紹介（総合の時間に）」（2人）

【熟議3】 最後には、「夏休みに具体的に実施できそうなこと」をテーマに、メンバーにアイディアを考えてもらい、主なアイディアにメンバーから投票してもらいました。

- 「朝ごはん食堂」（6人） ○「学校内の校庭・花壇整備」（2人）
- 「夕方集まってみんなで花火大会」（2人） ○「プールの前に地域の方の話を聞く」（2人）

以上の通り、建設的な意見・アイディアがたくさん出ました。以下は、出された主な意見やアイディアをまとめたものです。

「地域の歴史を話し合う会」「学校での避難所体験」「地域一斉清掃の参加」「朝ごはん食堂」
「人生の先輩ゲストティーチャー」「地域伝統行事の紹介」「地域ごとに朝ご飯食堂を開く」
「学校西側の花壇整備と子どもと地域を一緒に行う」「おさらい教室・勉強会」
「学校・地域合同の資源回収」「音楽の授業お助け隊」「短時間活動のシリーズ化」
「地域の方との合同あいさつ運動」「世代を超えた読書会」「学校に集会所を作ろう」「子どもによる大人への読み聞かせ」「地域の方と作物栽培」「学校内の校庭・花壇整備」
「地域の方とのブレインストーミングの会」「図工教室」「放課後学習支援活動」「校内整備」

2学期以降十小で実際にできそうなことを絞り込みますと、以下のことが挙げられます。

- ◎「放課後学習支援活動」
- ◎「読み聞かせ活動の拡充」
- ◎「学校周りの花壇整備活動」
- ◎「中庭の芝生の整備活動」
- ◎「中庭ステージの改修活動」

放課後の時間を活用し、学習面でのおさらいを子どもたちと一緒にしていただいたくことがあります。また、読み聞かせのメンバー数も不足していますので、さらにご協力してくださる方が必要です。また、学校周りの花壇の花で環境に潤いをもたせたり、中庭芝生で子どもたちが裸足で遊ぶことができたりと、環境面でもより一層充実できる面があります。11月16日（土）に開催予定の第3回学校運営協議会で、具体化に向けて話し合っていきたいと思えます。

今後、地域の方々及び関係者の方々のお力添えが一層必要になります。よろしくお願いいたします。